

「意識の流れ」

学びのポイント

はじめに

私、田池留吉の意識は、真っ直ぐに真実を追究してやまない意識に向けて、今世の肉を通して、真実をお伝えすることをやってみてまいりました。

私の思いは、ただ真実をお伝えするということに尽きるのです。

その思いを現実化したものが、セミナーでした。

しかし、すでにご承知の通り、従来のセミナーはその幕を閉じ

ています。

今現在は、一人でも多くの人達が、真実に触れるチャンスをと
いうことで、勉強会を開催させていただいている次第です。

確かに、今世のセミナーの幕は閉じられました、真実への道
は、たゆむことなく進化し続けて、そして、私達は、二五〇年後
を迎えます。

これから、約三〇〇年の激動の時間を経て、私達には次元移行
という計画があります。

それには、今世、それぞれが学んだことを、しっかりと、それ

それぞれの転生の中で繋いでいくということが、何としても必要で
す。

学びに触れた時間の長短には、関係がありません。

私達は、意識の流れの中にあることを、今一度、それぞれがし
っかりと自覚なさって、それぞれの過程の中で、ただひたすら
に、真実への道を歩まれることが待たれているだけです。

以上の思いから、私は、ここに、学びのポイントを、再度、したた認
めたいと思います。

どうぞ、自分は何のために学びに繋がってきたのか、自分は何

を学んできたのか、そして、自分のあり方というものをどのよう
に感じているのか、今一度、いいえ、何度も何度も振り返ってい
ただきたいと思います。

この冊子が、そのお役に立てるならば、こんなに嬉しいことは
ありません。

《目次》

- はじめに 3
- ポイント 1 この学びは、宗教ではありません。 12
- ポイント 2 この学びは、チャネラー（霊能者）を育成する場ではありません。 14
- ポイント 3 学びの動機を修正してください 16
- ポイント 4 苦しいあなたが間違っています。 18
- ポイント 5 自分に聞きなさい。 20
- ポイント 6 早寝早起きを基本に、生活のリズムを整えてください。 23

- ポイント 7 甘えから脱却しましょう。 26
- ポイント 8 母親に使ってきた心、思いが、
すべての自分を教えてくれました。 28
- ポイント 9 母親に使ってきた心は、
他力の神々に使ってきた心と同根です。 30
- ポイント 10 田池留吉、あるいはアルバートが、
そんなに簡単に語ってくるはずがありません。 33
- ポイント 11 ゆったりとした時間を作るよう、心がけてください。
36
- ポイント 12 最後は瞑想です。 37

「意識の流れ」

学びのポイント

【ポイント1】

この学びは、宗教ではありません。

救ってください。

何とかしてください。

パワーをください。

導いてやろう。

崇めなさい。

これらの思いを徹底的に、自分で見直してください。

これらの思いが拭い切れない限り、一歩も前に進めません。

【ポイント2】

この学びは、チャネラー（霊能者）を育成する場ではありません。
ん。

人間は、みんなチャネラー（霊能者）です。

チャネラー（霊能者）になりたい、なろうとしなくても、人間はもともとチャネラー（霊能者）です。

なぜならば、人間の本质は意識だからです。

心で感じる事ができます。心に響くものがあります。

本当の意味のチャネラー（霊能者）として、それぞれが蘇って
ください。

【ポイント3】

学びの動機を修正してください。

ポイント1と2で挙げましたが、学びの動機を修正しないままに、時間が過ぎ去っていった人が多くいます。

そういう人達は、どんなに何を感じようとも、決して、学びの本質に触れることはありません。

我流の学びをしているだけです。

自己満足の域を超えません。

【ポイント4】

苦しいあなたが間違っています。

あなたの考え、言い分、主張はいいのです。

それらはこの世的には正しいかもしれませんが。

しかし、あなたの心が苦しければ、正論であつてもなくても、
所詮はどうでもいいことです。

どうでもいいことに、エネルギーを費やして、そして、自分の

心を見ることを疎おろそかにしているということを、あなたの心は正直に返してきます。

間違っていると、あなたがあなたに返してくるのです。

【ポイント5】

自分に聞きなさい。

自分に聞くとは、真まことの自分に聞くということですよ。

人間は、みんな、真まことの自分を知りません。

偽にせの自分に聞いては、失敗を繰り返してきました。

あるいは、欲の思いで、この人と思う人に判断を仰いできたのです。

いずれにしても、最終的に選択し、決断したのは自分でしたが、その責任を自分で負うことはしてきませんでした。

もちろん、そう簡単には、まこと真の自分に出会えません。

そこに至るまでには、何度も何度も失敗して、その中から何かに気付いていく過程が、つまり、試行錯誤が必要です。

まこと真の自分に出会うまで、試行錯誤は繰り返し返されていきます。

ですから、今のところ、まだそういう状態ではないと思う人は、すでに、意識の流れに沿った書籍が出版されています。

あなたの疑問に対する回答は、すべて、そこに綴られています。

す。

人に聞くならば、本を読み込んでください。

そして、最終的には、自分の中にすべての回答があることを、知っていただく下さい。

それが、真まことの自分との出会いだと知ってください。

【ポイント6】

早寝早起きを基本に、生活のリズムを整えてください。

心を見るには、つまり、自分のエネルギーを知っていくには、肉体が必要です。今現在の段階では、肉体がなければ、真実の世界に触れることはできません。

さらに、体力、気力が充実していれば、心を見るという環境は申し分なく整っています。

なぜならば、心を見る作業には、かなりのエネルギーが必要だからです。

体力が衰え、気力が萎えた状態では、とても心を見ることはできません。

早寝早起きを基本に、丹田呼吸と半身浴の励行、暴飲暴食を避け、生活のリズムを整えてください。

規則正しいリズムの中でこそ、真実の方向へ導いていく環境を、自ら整えてきたことを感じるはずです。

肉体細胞の喜びに支えられて自分があることを、それぞれがし

っ
か
り
と
感
じ
て
い
っ
つ
て
く
だ
さ
い
。

【ポイント7】

甘えから脱却しましょう。

「自分は今、何のために肉を持っているのか。」

この問いかけに対して、心で答えようとすれば、甘えて、我がままのまま、自分勝手な、今の自分が見えてきます。

そして、そのような自分が見えてきたら、何でも当然という思いが、甘えを助長してきたことを感じます。

そうならば、肉の甘えは卒業できるはずです。

なぜ、何でも当然なのでしょうか。

あつて当たり前、してくれて当たり前、そこからは、何も見え
てきません。

心から、「ありがとうございます」という思いは、湧いてこ
ないのです。

出てくるとするならば、それは、自分の望み、願いが叶えられ
てありがとうということでしょう。

甘えというところから、自分を振り返ってみてください。

【ポイント8】

母親に使ってきた心、思いが、すべての自分を教えてくれていました。

母親の反省を侮らないでください。一番大切な作業です。母親に使ってきた心、思いは、みんな自分自身です。

自分を分かりやすく教えてくれているのです。

母親は、自分に肉をくれて、なおかつ、自分というものを教え

てくれている存在です。

このような存在は、他にありません。

母親を見下し、嫌悪してきたのではありませんか。

あるいは、崇め奉る思いで、母親に接してきませんでしたか。母親は、それらの苦しくて間違った思い（闇の思い）を、見事に引き出してくれるかけがえのない存在です。

【ポイント9】

母親に使ってきた心は、他力の神々に使って来た心と同根です。

他力の神々に使って来た心を見ていけば、動機の修正に繋がっていきます。

言い換えれば、動機の修正がなされていないということは、他力の反省が進んでいないということです。

動機の修正は、真実への道を歩んでいくことについて、絶対に外せない事柄です。

他力の神々を握ったのは、自分です。

他力の神々に恐怖し、忌み嫌うではありません。

また、上から言い聞かせるではありません。

握った自分とは、いったい何だろうか。

なぜ、他力の神々にひれ伏し、あるいは、それに取りつて代わろうとしてきたのか。

それは、母親の温もりを忘れ去ってしまったからではないだろう

うか。

ひとつひとつ、自分の中で振り返りましょう。

母親の反省と母を想う瞑想が進んでいけば、他力の反省も進みます。

なぜならば、両者は根っこが同じだからです。

【ポイント10】

田池留吉、あるいはアルバートが、そんなに簡単に語ってくるはずがありません。

「私は、田池留吉です。」「私は、アルバートです。」

その次に続く思いを聞いてもかまいません。

あなた自身が苦しくなければ、自然に任せてください。

しかし、聞きつ放しではいけません。

語ってきたことを形にする、たとえば口から出すとか、もつと
いいのは、それを文字にすることです。

そして、改めて、聞き直したり、読み直したりしてみてください。
い。

結論は、田池留吉、アルバートが、そんなに簡単に語ってくる
はずがないということですよ。

それは、時間が経てば、はつきりとしてきます。

ただ、今は、そういうことよりも、学びの本質に少しでも近づ
いていくことに、専心してください。

学びの本質とは、もちろん、意識の転回です。

意識の転回なくして、聞こえてくる声、思いとは、いかなるものなのかということだと思います。

【ポイント11】

ゆったりとした時間を作るよう、心がけてください。

一人ひとりの事情が違います。みんな、それぞれの環境の中で、学びを遂行していこうとしています。

しかし、時間に追われる毎日では、果たしてどうでしょうか。事情が許す限り、ゆったりとした時間を持ってください。

【ポイント12】

最後は瞑想です。

瞑想をして、間違い続けてきた自分と出会い、そして、瞑想をして、軌道修正にある自分を感じていってください。

間違い続けてきたこと、狂い続けてきたこと、そういう自分であつたことを知らずに、肉の人生を終えるほど、空しくて残念なことはありません。

どんなに、栄耀栄華の中に身を置いても、果てしなく続いてきた地獄の自分を知らない限り、自分自身は決して幸せではないのです。

転生は、自分の地獄を知ろうとする思いが、形となって表れてきたものです。

本当の喜びと幸せ、そして、本当の愛に目覚めるために、自らが計画してきたことを、瞑想を続けていく中において、心で知っていただく。心で感じていただく。

本当の自分に待たれていることを、心で感じていく時間が、瞑

想の時間です。だから、最後は瞑想です。

「意識の流れ」学びのポイント

2008年7月1日 第1版第1刷発行

編集 / 発行 U T A 会

印刷 / 製本 株式会社ヤマトヴィコム

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

© 2008 Printed in Japan